

はんどいんはんど東総とは？

★ 心の病とは？ ★

「ストレスにより誰でもかかる病気」

みなさんは、家庭、学校、職場等の日常生活の中で、嫌な事やつらい事を経験し、ひどく気分が落ち込んだことはありませんか？

心の病は、疲れがたまっている時に、外部からのストレスを受け続けると心が緊張しすぎてしまい、心（精神）の病気となって現れます。

現代の医学は進歩しており、脳の一部分が病気の原因であることが分かってきており、ストレスを減らす事とお薬の服用とで回復が可能です。

★ 心の病を持つ方々を取り巻く現状 ★

「地域で暮らすためのサポート体制が不足しています！！」

今の日本では心の病（精神障がい）を持つ事により、様々な制限が出て来てしまいます。例えば、病が回復してきたにも関わらず、地域で生活するようなサポート体制（住む場所や働く場所など）が少ないために、精神病院での入院を長期間続けなければなりません。世界中で日本が最も精神病院を持っており、全国に7万2千人もの方々が退院できるほどに回復しているのに、不必要な入院を続けています。

★ NPO法人はんどいんはんど東総が目指すもの ★

「心の病を持つ人も持たない人も共に暮らせる地域づくり」

誰もがなりうる心の病だからこそ、精神障がいを持つ方々が地域社会の一員として夢や希望をあきらめることなく地域生活ができるような応援をしていきたいと思っています。

現在は、精神障がい者の“働きたい”をサポートする為の就労訓練や“地域で安心して生活したい”をサポートする住居支援を中心に事業を展開しています。

事業内容

① 就労継続支援 B 型事業所（非雇用型）、就労移行支援「ひまわり工房」の運営

1994年に共同作業所として開設、2007年4月に障害者自立支援法に基づく就労継続支援 B 型（非雇用型）事業所へと移行。年間利用者延べ人数 3,909 人(2011 年度)。働く希望を持っている方を対象に菓子製造、下請け作業、施設外就労等の就労に向けたトレーニングを行っています。

② グループホーム／ケアホーム

「にじの家」「ハーモニーハイツ」の運営

2000年に第1グループホーム「にじの家」、2005年に第2グループホーム「ハーモニーハイツ」を開設。

2006年10月に障害者自立支援法に基づく共同生活援助・共同生活介護事業所へと移行。定員は9名。

③ 「サポートハンド事業」

（生活用品の譲渡と資金の貸付）

退院して新しく生活を始める精神障がい者に必要な生活用品を安く提供したり、返済の見込みがある場合は無利子でお金を貸しています。年間 14 件（2011 年度）の利用がありました。

④ 精神保健福祉に関する啓発活動

ホームページを活用して活動を広く紹介すると共に、会員に対してニュースレターを発行し、ネットワークを広げている。

また、学習会やイベントを開催し、会員・近隣の関係者に向けて地域精神保健福祉発展の啓発に取り組んだり、地域の講演会に参加し精神障がいに関する理解を促すような啓発活動に取り組んでいます。

⑤ 社会参加活動

地域のバザーに参加し、精神障がいに関するチラシを配布したり、活動資金集めの一助となる活動をしています。

⑥ その他

「交流会」として、法人のサービスを利用している方々と、会員が交流できるレクリエーションの機会を設けています。又単身で生活している人達が集える食事会も開催しています。

組織図

会員数（平成 24 年度）：

69 名（正会員 41 名、賛助会員 28 名）

NPO 法人はんどいんはんど東総

